

令和6年度 大学生のためのボランティア活動推進事業
自主企画事業支援プロジェクト
「のともキッズ2024 ～バンブーフエスティバル～」

1 趣旨

仲間意識が芽生え始める小学3,4年生が体験を共にし、他者や自分を知ること子どもたちなりの“仲間”意識を作り出す。また、非日常の体験を楽しみ、かけがえのない思い出を仲間と作り上げることで、自分の自信にする。

2 日程

(1) 期 日:令和6年11月3日(日)～4日(月)

(2) 参加者:小学3年生15名(男子9名、女子6名)、小学4年生13名(男子6名、女子7名)
ボランティア12名

(3) 研修内容

11月3日(日)	11月4日(月・祝)
9:30 受付	6:00 起床・洗面・清掃
10:00 出合いのつどい アイスブレイク	7:00 朝のつどい 7:20 朝食(食堂)
12:00 昼食(食堂)	9:00 野外炊事
13:00 竹クラフトづくり	14:00 ふりかえり
17:00 タベのつどい	15:00 解散
17:30 夕食(食堂)	
19:00 キャンプファイヤー	
20:30 入浴・シャワー	
22:00 消灯・就寝	

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ①アイスブレイクでは、ボランティアの学生が全員で交代しながら指導をした。参加者の年齢や属性に配慮した活動を行い、グループの仲間意識の芽生えに寄与した。
- ②竹クラフトづくりでは、和紙と竹を使用してランタンを作成した。事前に用意した作り方の説明書を利用し、子どもたち自身で考えながら、主体的に作成することができた。班によっては、完成する時間にばらつきが生じ、乾燥時間が不足することもあった。

③野外炊事では竹を利用してバウムクーヘンを作成した。生地を焼く際は、竹を回す・生地をかける・火の調整をする、などの作業を分担して行った。班ごとに役割分担をしてから活動に取り組んだ。

(2) アンケート結果について

①教育事業アンケートの満足度(「満足」の評価)は、「事業全体」「事業プログラム内容」の項目において100%の高評価であった。「次回も参加したいか」という問いに関しても、「思う以上」の高評価が100%であった。

②アンケートの記述には「いろいろなことに挑戦して、みんなで協力することができた」「友達をたくさん作れた」「班の全員が怪我をせずに竹を切ることができた」「自分の班が終わったら他の班を手伝うことができた」など、他者を気遣うような感想があった。

(3) 成果と課題

① 成果

・ボランティアは企画運営委員3名、当日ボランティア9名の合計12名で実施した。企画運営委員自身が、今までの活動中に関わった学生ボラを個別に勧誘し、より身近で気の置けないメンバーで実施したことは、事前の円滑な打ち合わせや、当日の臨機応変な対応に繋がった。(追加で施設のボランティア登録リストにも募集をかけたが、応募者はいなかった。)

・「竹」をテーマに活動プログラムを構成した。クラフトの材料としての活用や野外炊事の道具としての活用など、同じ素材を異なる使用用途で利用したことは、参加者を飽きさせないことや事業プログラムの統一感を向上させることに繋がった。

② 課題

・事業当日のプログラム進行時間が予定と合わず、運営委員と他のボランティアの間で先の見通しが異なる場面があった。不測の事態に備えて、ボランティア間の連絡体制を確実に定めておく必要がある。

4事業の様子



【アイスブレイク】



【竹ランタン作り】



【バウムクーヘン作り】



【キャンプファイヤー】



【運営ボランティア集合写真】